

名古屋学院大学大学院 経済経営研究科 経営政策専攻（博士前期課程）

2026年度第Ⅱ期入学試験（2026年3月7日実施）

入学試験問題〔専門科目〕

注意：解答は、別に配布される解答用紙に記入してください。

---

以下の、あなたが志望する演習（第一志望のみ）に関する問題について、1,000字程度で答えなさい。なお、解答用紙上部の「志望する演習名」欄に志望演習名を明記しなさい。

**(1) 〔税法系演習〕**

税法の全体を支配する基本原則には租税法律主義と租税公平主義の二大原則がある。これを前提として、以下の各問に答えなさい。

1 租税法律主義について

(1) 租税法律主義の意義を、憲法上の根拠を示しつつ述べ、さらにその現代社会における機能について述べなさい。

(2) 租税法律主義の内容を3つ上げて、それぞれを説明しなさい。

2 租税公平主義の意義を、憲法上の根拠を示しつつ述べなさい。但し、その意義を述べるに当たり、立法との関係と、執行との関係をそれぞれ区別して述べること。

3 租税法律主義と租税公平主義との関係を論ぜよ。特に、両原則は相反する関係にあるか、相反するとするなら、具体的にどのような場合に相反するのかを述べたうえで、両原則が調和のとれた関係となる可能性について論ぜよ。